

テーマ3

自主防災組織のリーダー育成研修プログラム例(案) ～ 避難所の運営を円滑に進めるには ～

【本研修プログラムのねらい】  
 ○ 3時間程度(休憩20分含む)の研修を通じて、避難所の開設・運営を自主的に行う上で最低限必要と考えられる知識とスキルを身につけることのできるプログラムです。  
 ○ 本プログラムは、多様な避難者が避難する避難所を円滑に開設・運営できるようにすることを目的として、理解することが望まれる事項を、「自主防災組織のリーダー育成のための教育・訓練カリキュラム」の中から抽出したものです。  
 ○ 具体的には、「災害への事前の備え」のうち、「わがまち(地域)の防災体制をつくる」の主要な項目と、「災害への対応」のうち、「発災の直前・直後に命を守る」、「安心・安全に避難生活を送る」の主要な項目について学習する構成としています。  
 ○ 単元毎の時間は目安として示しています。必要に応じ延長・短縮して実施するなどの活用も考えられます。  
 ○ なお、本プログラムは自主防災組織のリーダー向けのものですが、消防団、女性防火クラブ、民生委員・児童委員、社会福祉協議会などの自主防災組織以外の地域防災に関わる団体や組織のリーダー向けの研修においても活用することができます。

ワークショップ・演習可

単元	単元の学習項目 (大項目)		単元の学習項目 (中項目)		各単元の学習内容 (学習項目の概要)	所要(分)		備考
	1	2	1	2		詳細	計	
1限目 避難所の開設	1	安心・安全に避難生活を送る<B12>	1	避難所の開設・運営<C33>	避難所の開設から運営までの流れや、関係者と連携しながら円滑に避難所を運営するための方法について学ぶとともに、避難所運営に必要な知識を学ぶ。	60	60	C33スライドのうち、避難所の開設において、どのような準備が必要かを理解する内容を使用
2限目 避難所の運営	1	安心・安全に避難生活を送る<B12>	1	避難所の開設・運営<C33>	避難所の開設から運営までの流れや、関係者と連携しながら円滑に避難所を運営するための方法について学ぶとともに、避難所運営に必要な知識を学ぶ。	40	75	C33スライドのうち、避難所の運営において、どのような状況が発生するかイメージし、運営のポイントを理解する内容を使用
	2	わがまち(地域)の防災体制をつくる<B8>	2	要配慮者の地域ぐるみでの支援体制<C22>	要配慮者(高齢者・障がい者・乳幼児・妊婦・負傷者・外国人等)と避難行動要支援者の意味、要配慮者の特性等について学ぶ。また、災害時における要配慮者の支援の必要性、要配慮者の特性に応じた支援体制づくりの方法、配慮の方法を整理したマニュアル作成について学ぶ。(避難行動要支援者への避難支援も含む。)	25		C22スライドのうち、避難生活における要配慮者への対応とポイントについて理解する内容を使用
	3	安心・安全に避難生活を送る<B12>	3	災害ボランティアの受入、被災地への応援協力<C38>	避難所での炊き出しや家屋のがれき撤去など、被災者の生活を支え、復旧・復興で重要な役割を果たす災害ボランティアの存在や有用性について学ぶとともに、地域においてあらかじめボランティアを受け入れる力「受援力」を高めておくための平常時の取組や受入方法について学ぶ。	5		
			4	避難所の開設・運営<C33>	避難所の開設から運営までの流れや、関係者と連携しながら円滑に避難所を運営するための方法について学ぶとともに、避難所運営に必要な知識を学ぶ。	5		C33スライドのうち、在宅避難者等の避難所外の避難者への対応について理解するスライドを使用
3限目 平時の備え	1	安心・安全に避難生活を送る<B12>	1	避難所の開設・運営<C33>	避難所の開設から運営までの流れや、関係者と連携しながら円滑に避難所を運営するための方法について学ぶとともに、避難所運営に必要な知識を学ぶ。	25	25	C33スライドのうち、避難所開設・運営に備えて平時からやるべきことを理解する内容を使用